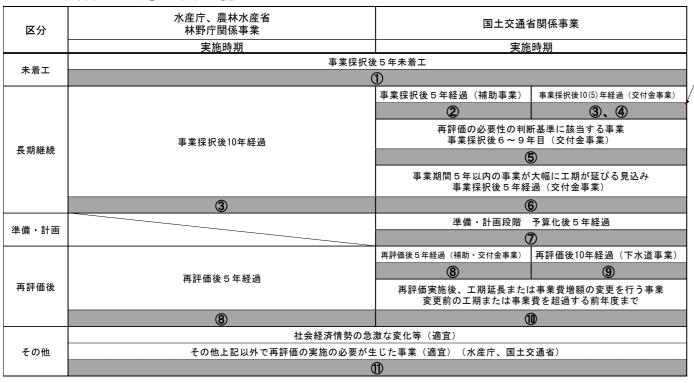
〈別記 6>

令和元年度 再評価対象事業一覧表

令和元年9月作成

整.番					再評価の視点																	
	隆理 番号	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	f 事業概要	エ	工 期 事業費	再評価の 理由※2	事業進捗の状況及び見込み				4				費用対効果分析		コスト縮減	前回	対応
							着工	完了 (億円		前年度迄 事業費	前年度迄 事業費 進捗率	用地 進捗率	R1年度 事業費	R2年度 以降事業費	上位計画への位置づけ、 関連事業の状況	社会経済 情勢の変化	地元等 の意向	B/C	分析基礎の	及び 代替案立案の 可能性の有無	前回 落議 元年度 (月	方針 (原案)
							上段:当 下段:変	á初※ 1 逐更		(億円)	(%)	(%) ※3	(億円)	(億円)				当初 ※ 1	要因の変化			
河	JII- ¾	可川総合開発事業	石木ダム	県	川棚町	重力式コンクリートダム ダム高H=55.4m 堤頂長L=234.0m		R4 285	再評価後変列 ⑩ 社会経済情勢 の変化等 ⑪		54.6	88.7 (81.8)	11.3	118.1	・長崎県総合計画チャレンジ2020 9-(4)-5「地震、大雨、台風、高潮などの自然災害に備えた施設整備など防災対策の推進」に位置付けられている。 ・川棚川水系河川整備基本方針・川棚川水系河川整備計画	・工事工程の見直しによる工期変更	・既に81 ・既に81 ・既に81 ・既権者ムレの ・地権を名の ・地域を宅部を権転しい ・地域をまずる ・地域をまずる ・地域をまずる ・・地域をまずる ・・地域をまずる ・・地域を ・・は ・・は ・・は ・・は ・・は ・・は ・・は ・・は ・・は ・・	1.25 1.21	【その他要因】 ・費用便益分析マニュアルの改定 (プラス要因)	・治ない現代計画、	H27	継続

- ※1 2回目以降の再評価の場合、「当初」は「前回」と置き換えている。
- ※2 「再評価の理由」の項目一覧



※3 用地進捗率の上段は「事業費ベース」、下段()書きは「契約(面積)ベース」である。

③: 10年経過 ④: 5年経過 (5年経過時点で再評価が必要と判断)